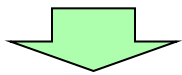


# 富良野市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年11月～26年10月)※ 期間延長適用後

## 【中心市街地を巡る状況】

- ドラマ「北の国から」、スキー場、ラベンダーで知られる観光のまち
- 観光地の多くが郊外や隣町に立地し、中心市街地内に賑わい拠点が不足
- 中心市街地内の大型店撤退、モーリゼーションの進展、病院の駅東への移転等により中心市街地が衰退傾向
- 高齢化の進展に伴い、高齢者が歩いて暮らせる居住環境、生活拠点の整備も課題



## ○歩行者・自転車通行量

H8: 6,014人 → H19: 3,094人 (▲49%)

## ○居住人口

H8: 2,922人 → H19: 2,741人 (▲6%)

## ○観光入込客数

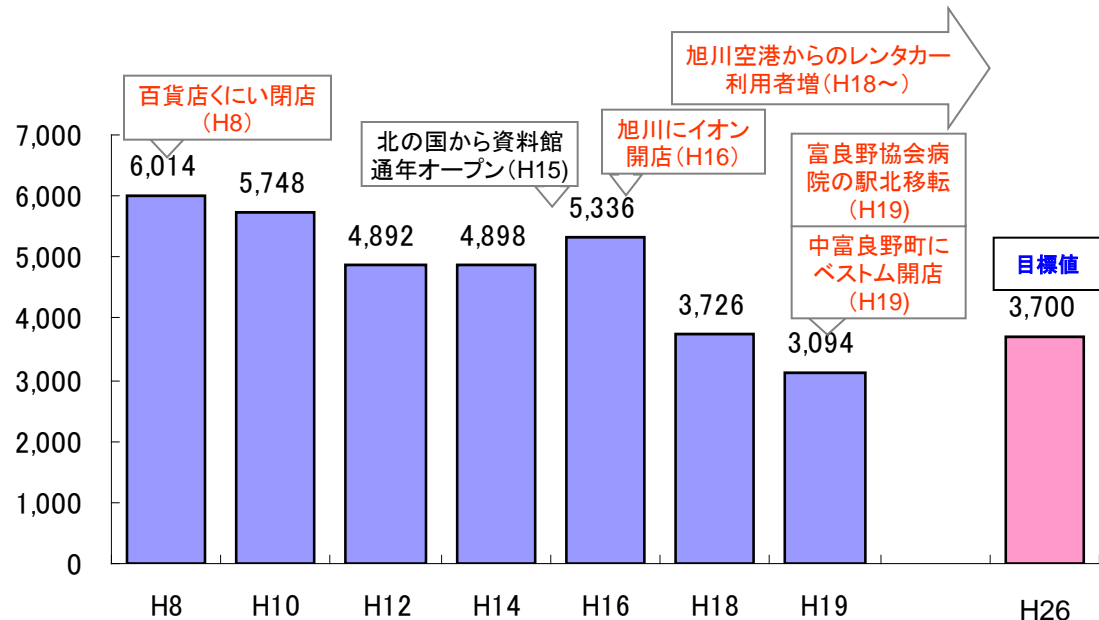
全市: H8: 2,149,148人 → H18: 2,107,427人 (▲2%)

中心: H8: 60,387人 → H18: 80,315人 (+33%)

## 【目標】

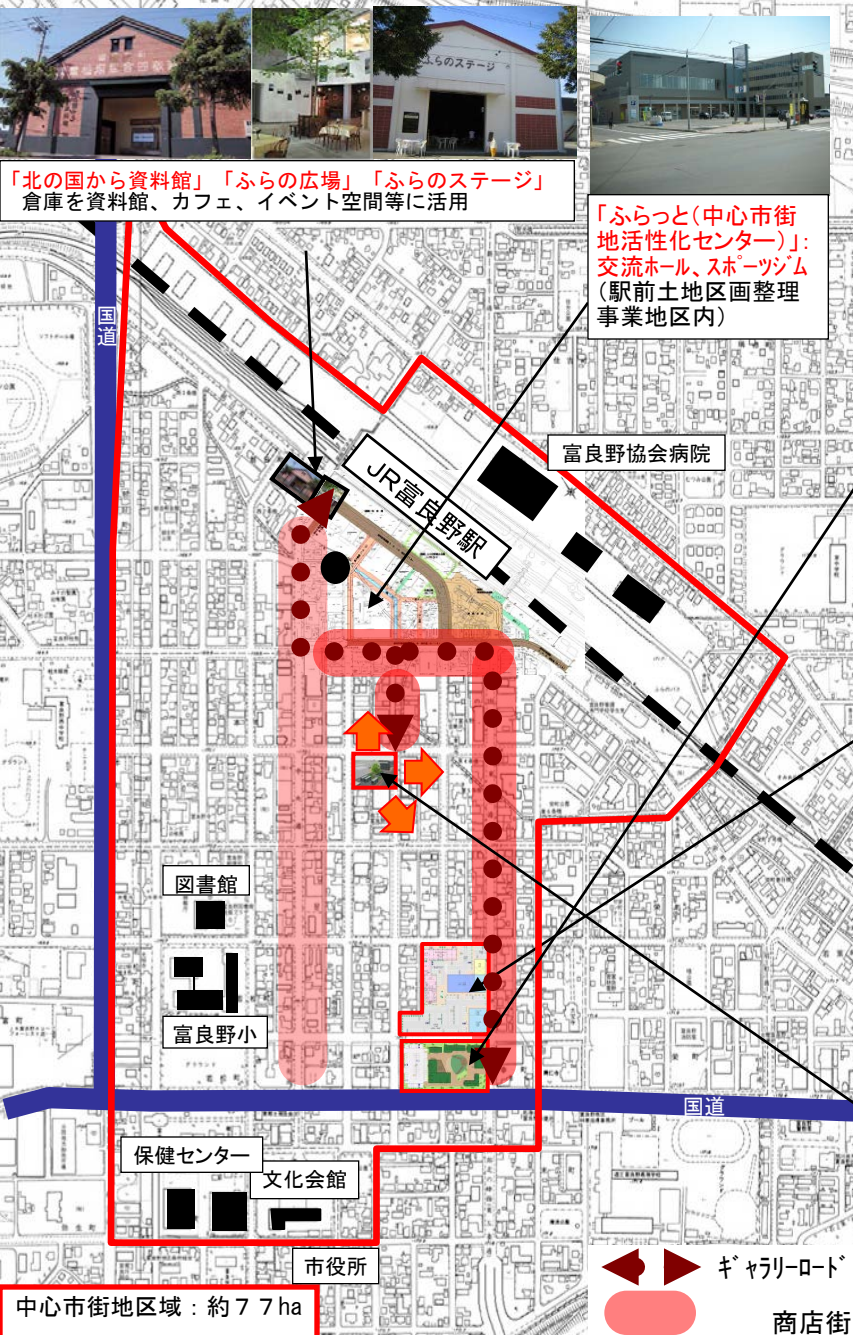
目標	指標	現況値(H19)	目標値(H26)
まちなか回遊の促進	歩行者・自転車通行量(平日・4地点)	3,094人	3,700人
まちなかの住まいを促進	居住人口	2,741人	2,900人

## 【歩行者・自転車通行量の動向と数値目標】



病院跡地の活用等による賑わい・生活拠点の整備や拠点間をつなぐギャラリーロード等ソフト事業の展開を、まちづくり会社を中心とした民間主体で取り組むことで、市民、観光客を中心市街地に引き込み、賑わいの回復を目指す。

# 富良野市中心市街地活性化基本計画の事業概要



## まちなかの賑わい促進



### 【「フラノ・マルシェ(仮称)」整備】

○駅北に移転した富良野協会病院跡地を活用し、ブランドイメージの高い富良野の食材(野菜等)や加工食品(乳製品)の販売、飲食等の店舗やフリーマーケット等イベント実施のための多目的広場を整備。国道沿いの玄関口、拠点として機能。

### 【「ネーブル・タウン(仮称)」整備】

○商店街とその周辺の低未利用地等を市街地再開発事業により一体的に開発し、スーパー銭湯、高齢者住宅、クリニック、店舗、事務所、住宅等を整備することにより、商店街の再生を推進。



「ネーブルタウン(仮称)」  
第1種市街地再開発事業  
敷地面積: 約1ha  
延床面積: 約8,000㎡

### 【「サンライズ・パーク」整備】

○百貨店「くいにい」跡地を開発し、大型バスも駐車可能な「まちなか駐車場」やポケットパークを整備し、そこを起点としてレンタサイクルを活用した「まちなかパーク&ライド」を推進。

### 【ギャラリーロード】

○市内に在住するプロ・アマ様々な芸術家の作品を各商店街のショーウィンドウに展示し通りの魅力向上

イメージ

○まちを紹介するジャンル別マップ・ロコマップの作成やQRコード等による情報発信、各種イベントを開催

イメージ



○空地を活用した集合住宅等建設推進のため、商店街、不動産業者、金融機関等で構成する「まちなか居住推進会議」を設置し、情報交換、窓口相談を実施

## まちなか居住促進